

科目名称	教育実習（幼）
授業コード	BM406
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	田口 直子, 安部 久美, 小林 咲里亜, 渡部 晃子
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	<p>幼稚園一種免許状取得のために必要な科目である。 実際の現場にて幼稚園教諭としての学びを深める。 具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教諭の職務内容、職業倫理、幼児の発達や生活などを主体的・体験的に学ぶ。</li> <li>・幼稚園の教育課程・指導計画に基づいた指導案を立案し責任実習を行う。</li> </ul> <p>幼児保育学科のディプロマポリシーに示されている、観察・理解力を身に付けること、乳幼児の発達や育ちを基に指導計画を立案し、省察、改善を行うこと、他者への共感性や思いやり、コミュニケーション力を身に付けることを目指す。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	幼稚園教諭としての勤務経験者（安部）及び教育現場での実務経験のある教員(田口・渡部・小林)による事前指導を受けたのち、現場での実践を通じた学習を行う。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 幼稚園の役割、幼稚園教諭の専門性、職務内容をより深く理解する。</li> <li>2 部分実習、責任実習を通して保育技術を身に付ける。</li> <li>3 幼児の発達を踏まえて、個人差に対応した援助の仕方を学ぶ。</li> <li>4 指導計画を立案して保育を実践し、実践後には保育を振り返る態度を身に付ける。</li> <li>5 幼児の主体的な活動を引き出すための環境の構成や、ふさわしい援助について理解する。</li> <li>6 将来、目標とする幼稚園教諭の姿を具体化し、自己の課題を明確にする。</li> </ol>
計画・内容	<p>幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園において、10日間以上、80時間以上の保育所実習を行う。原則として観察実習、参加実習、部分実習を通して、保育者の補助を行ったり、子どもと直接かかわったりしながら保育の実践法を学習する。また、園の方針や子どもの様子を学び、保育士の指導を受けながら指導案を立案して、責任実習を行うことで保育実践を試みる。</p> <p>ただし、具体的な内容については実習園の指導に従う。</p>
授業の進め方	<p>幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園にて実習を行う。</p> <p>学科教員は学生サポートと巡回訪問を行う。</p>
能動的な学びの実施	幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園において幼児と主体的・能動的に関わり、参加実習・責任実習部分的な指導実習を行う。
授業時間外の学修	<p>授業外学習（合計60時間程度）</p> <p>予習：前日の実習の振り返りから、次の実習での課題を明確にする。 子どもたちの年齢や発達にあった実習指導案を作成する。</p> <p>復習：実習日誌の記録を作成する。</p>

教科書・参考書	教育実習・保育実習の手引き
成績評価方法と基準	実習園の評価(80%) 実習日誌の内容等(20%)
課題等に対するフィードバック	事後指導において振り返り(フィードバック)を行う。
オフィスアワー	CampusSquare参照
留意事項	実習を無断で欠席したり遅刻したり早退したりした場合は、実習を中止する。やむを得ず欠席したり遅刻したり早退したりする場合は、必ず実習先、大学、巡回指導教員に事前に連絡する。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	時期ないし、実習施設を変更し、合計80時間以上の実地における実習を行う。